

宮城県考古学会連絡紙

第 73 号

平成 30 年(2018)6 月 30 日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

平成 30 年度 宮城県考古学会総会・研究発表会報告

5月13日(日)に、東北歴史博物館 講堂において、平成 30 年度宮城県考古学会総会・研究発表会を以下の日程で開催しました。

★総会 10:00~10:30

佐々木和博会長から開会の挨拶があり、つづいて議長団の選出により6件の議事が行われました。

議案第1号 2017 年度の事業報告について

議案第2号 2017 年度収支決算報告(案)

議案第3号 2018 年度の事業計画(案)について

議案第4号 2018 年度の収支予算(案)

議案第5号刊行物の価格改定について

議案第6号役員改選(案)について

以上の各議案について担当幹事から説明があり、審議の結果、議案第1号から第6号まで承認されました。また、会員より本会の財政状況に関する質問があり、長島榮一幹事長から今後の役員会で検討することを返答しました。

★創立 20 周年記念事業『宮城県の考古学-この 10 年の歩みと展望-』10:45~16:50

口頭発表の合間に、2回のポスターセッションタイムを設け、各発表者によるポスター・遺物等の解説が行われました。最後に、藤澤敦副会長から閉会の挨拶があり、本会は終了しました。

○口頭発表

記念講演「宮城県考古学会設立への歩み」白鳥良一氏(宮城県考古学会会員)

「総論」佐々木和博氏(宮城県考古学会会長)

「旧石器時代」村上裕次氏(宮城県多賀城跡調査研究所)

「縄文時代」初鹿野博之氏(宮城県教育委員会)

「弥生時代」三浦一樹氏(仙台市教育委員会)

「古墳時代」石橋宏氏(東北大学埋蔵文化財調査室)

「古代」廣谷和也氏(宮城県教育委員会)

「中世」森田義史氏(松島町教育委員会)

「近世」鈴木隆氏(仙台市教育委員会)

○ポスターセッション

「土器の加熱実験からみる縄文土器と弥生土器の違い」

伊藤瑠海氏(宮城県仙台二華高等学校)

「円筒埴輪の展開図による製作工程の分析」

今西純菜氏(東北大学文学研究科)

「古代瓦の範と製作技術-陸奥国分寺跡出土資料-」

早川文弥氏(東北大学文学研究科)

「縄文時代における骨筈の痕跡学的研究-沼津貝塚毛利・

遠藤コレクション-」

花田杜綺氏(東北大学文学研究科)

「須恵系土器の技術系譜に関する一考察」

館内魁生氏(東北大学文学研究科)

○展示遺物

加美町葉菜原 No.15・17・34 遺跡出土石器(加美町教育委員会)、石巻市中沢遺跡出土土器(石巻市教育委員会)、仙台市中在家南遺跡出土土器、仙台市大野田古墳群出土土師器・須恵器・埴輪、仙台市東光寺出土瓦、仙台城跡出土磁器、若林城跡出土陶器、仙台城跡造酒屋敷跡出土木簡、(仙台市教育委員会)、多賀城市多賀城跡出土瓦(多賀城跡調査研究所・東北歴史博物館)、松島町瑞巖寺境内遺跡出土瓦(宗教法人瑞巖寺、松島町教育委員会)、栗原市仰ヶ返り地蔵前遺跡出土瓦(東北学院大学文学部佐川正敏・藤原二郎)、仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区出土木簡(東北大学埋蔵文化財調査室)

平成30年度事業計画

1. 2018 年度総会・創立 20 周年記念事業
前項参照

2. 宮城県遺跡調査成果発表会

日時:12 月予定会場:未定

3. 会誌『宮城考古学』第 21 号の刊行

4. 連絡紙の発行

5. ホームページの運営

6. 役員会の開催

7. 後援等の実施

8. 研究部会の活動への支援

※詳細については、本会 Web サイトに掲載されている議案書をご覧ください。

博物館 展覧会・イベント等情報

【東北歴史博物館】

◆特別展「タイムスリップ！縄文時代」

会 期:7月21日(土)～9月24日(日)

縄文時代の資料の展示だけでなく、体験コーナーやイラスト、子ども向けの解説などをおこなう。

◆館長講座(遺跡博物館を考える)鷹野 光行 館長

会 場:東北歴史博物館3F講堂、時間:13:30～15:00、受講無料・申込不用

「第1回 文化財保護と遺跡の保存」6月30日(土)

「第2回 遺跡博物館の類型」7月14日(土)

「第3回 北海道の遺跡博物館」7月28日(土)

「第4回 東北地方の遺跡博物館」8月11日(土)

「第5回 関東地方の遺跡博物館」8月25日(土)

「第6回 中部地方の遺跡博物館」9月8日(土)

「第7回 近畿地方の遺跡博物館」9月22日(土)

「第8回 中国／四国地方の遺跡博物館」10月13日(土)

「第9回 九州地方の遺跡博物館」10月27日(土)

「第10回 遺跡博物館の活動と役割(まとめ)」11月10日(土)

【多賀城市埋蔵文化財調査センター】

◆平成30年度速報展

「発掘された遺跡—平成29年度の調査成果—」

会 期:5月26日(土)～7月29日(日)

観覧料:無料

【地底の森ミュージアム】

◆平成30年度特別企画展

「米づくりはじめました」

会 期:7月20日(金)～9月24日(月・祝)

◆記念講演

田崎 博之氏(愛媛大学先端研究・学術推進機構埋蔵文化財調査室 教授)「米づくりでつなぐ アジア～日本～富沢」

日 時:8月25日(土)13:30～15:30

会 場:太白区中央市民センター3階大会議室(たいはっくる内)

定 員:先着100名(申込不要。参加無料)

◆関連イベント「お米粘土ワークショップ」

展示している土器や農具をまねて、当館産のお米粘土でミニチュアを作るイベント。

日 時:7月29日(日)、8月12日(日)、8月26日(日)、9月9日(日) 各日13:00～15:00

会 場:地底の森ミュージアム 展望ラウンジ

※事前申込み不要。

概 要:中世館跡の堀跡を検出。7月21日(土)10:30～12:00 現地説明会の予定。

●栗原市入ノ沢遺跡

調査原因:重要遺跡範囲確認

調査期間:4月23日～6月18日

調査主体:栗原市教育委員会

概 要:未指定部分の追加指定のため、史跡範囲の南東側を調査し、集落全体を囲む大溝の一部を確認。大溝は一部クランク状に屈曲。そのほか平安時代の竪穴建物跡1棟を確認。6月9日(土)に現地説明会を行った。

●多賀城市山王遺跡

調査原因:圃場整備

調査期間:現在調査中

調査主体:多賀城市教育委員会

概 要:古代の土器埋設遺構や小溝群などを検出。

●岩沼市原遺跡

調査原因:圃場整備

調査期間:現在調査中

調査主体:岩沼市教育委員会

概 要:古代の遺構を多数検出。

お知らせ

宮城県考古学会では『大地からの伝言—宮城の災害考古学—』(一冊500円)、『宮城の旧石器時代遺跡』(一冊1,000円)を発刊しており、希望者には有償で頒布いたします。詳細は本会Webサイト(<http://www.m-kouko.net/>)をご確認ください。

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会Webサイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

<連絡先> 古川 一明(連絡紙代表幹事)

E-mail:info@m-kouko.net([宮城県考古学会](http://www.m-kouko.net/))

発掘調査情報(主要なもの)

●気仙沼市小屋館城跡

調査原因:三陸沿岸道路建設に伴う発掘調査

調査期間:現在調査中

調査主体:宮城県教育委員会